

『看護必要度Q&A（第4版）』第1刷 訂正表

『看護必要度Q&A（第4版）』第1刷におきまして、誤りがございました。ここにお詫び申し上げますと共に、以下のように訂正させていただきます。第2刷では、全ての訂正について反映済です。

iv ページ（はじめに） 最終段落

誤 医療の現場に有効活用していればと考えています。

正 医療の現場に有効活用していただければと考えています。

vii ページ（目次） Q71 のタイトル

誤 診療・療養上の指示が通じる

正 診療・療養上の指示が通じる<日常生活>

vii ページ（目次） Q72 のタイトル

誤 危険行動

正 危険行動<日常生活>

16 ページ（Step1 Q08） 「①評価項目の違い」 1 行目

誤 令和 2 年の改定では

正 令和 2 年度の改定では

22 ページ（Step2 Q10） 「①現在の看護必要度」 4 行目

誤 届出された入院等の種類毎に

正 届出された入院料等の種類毎に

25 ページ（Step2 Q11） 「②診療報酬改定における看護必要度」 4 行目

誤 その中に「令和 2 年度診療報酬改定」を選べば

正 その中の「令和 2 年度診療報酬改定」を選べば

43 ページ（Step3 Q18） 「(3) 日帰り入院」 1 行目

誤 入院した日に退院（死亡他院を含む）

正 入院した日に退院（死亡退院を含む）

45 ページ（Step3 Q19） 「(4) コード一覧を用いて評価をする A 項目」 4 行目

誤 EF 統合ファイルにおけるデータ区分コードが

正 入院 EF 統合ファイルにおけるデータ区分コードが

50 ページ（Step4 Q21） 表の「実施項目」欄のうち 3 項目

- 誤 ・特殊な治療法等・専門的な治療  
・処置⑤放射線治療・専門的な治療  
・処置⑪無菌治療室での治療
- 正 ・特殊な治療法等  
・専門的な治療・処置⑤放射線治療  
・専門的な治療・処置⑪無菌治療室での治療

74 ページ (Step5 Q29) 表の欄外

- 誤 ※1 動作の「促し」は
- 正 ※動作の「促し」は

83 ページ (Step6 Q31) 6 行目

- 誤 必要度Ⅰの定義等の条件を満たしているかに関係なく
- 正 必要度Ⅰの定義等の条件を満たしているかには関係なく

101 ページ (Step6 Q37) 「3」対象の管理」 5 行目

- 誤 対象病棟以外の手術室等で
- 正 対象病棟以外で

113 ページ (Step6 Q43) 「③『呼吸ケア』の子項目として評価する場合の注意点」  
4 行目

- 誤 必要度Ⅰ・必要度Ⅱでは
- 正 必要度Ⅰでは

184 ページ (Step9 Q71) Q のタイトル

- 誤 Q71 診療・療養上の指示が通じる
- 正 Q71 診療・療養上の指示が通じる<日常生活>

186 ページ (Step9 Q72) Q のタイトル

- 誤 Q72 危険行動
- 正 Q72 危険行動<日常生活>

211 ページ (Step11 Q80) 下から 2 行目

- 誤 「⑥ ③または④または⑤または⑥に該当する患者数 (割合)」
- 正 「⑥ ③または④または⑤に該当する患者数 (割合)」

212 ページ (Step11 Q81) Answer の

- 誤 検証は、上司によるチェック、
- 正 検証は、上司等によるチェック、

213 ページ (Step11 Q81) 「③評価の手引きによる評価の検証」 3 行目

誤 上司によるチェックが望ましいとされていますが、

正 上司等によるチェックが望ましいとされていますが、

221 ページ (Step12 Q84) 「③C 項目の発生状況」 6 行目

誤 3 つ評価項目から

正 3 つの評価項目から

232 ページ (Step12 Q89) 下から 4 行目

誤 「Question88 入院経過の推移状況」と同じですが、

正 「Question88 入院経過から見た、患者の状況推移」と同じですが、

233 ページ (Step12 Q89) 2 行目

誤 当月の 5 日入院して、

正 当月の 5 日に入院して、

244 ページ (付録 2) 7 行目

誤 割合の条はない。

正 割合の条件はない。

279 ページ (付録 5) 2 行目

誤 関連が深い事項についての下表に抜粋しました。

正 関連が深い事項について下表に抜粋しました。

289 ページ (おわりに) 18 行目

誤 全国一律というだけでなく、不公平間がないようにと

正 全国一律というだけでなく、不公平感がないようにと

以上